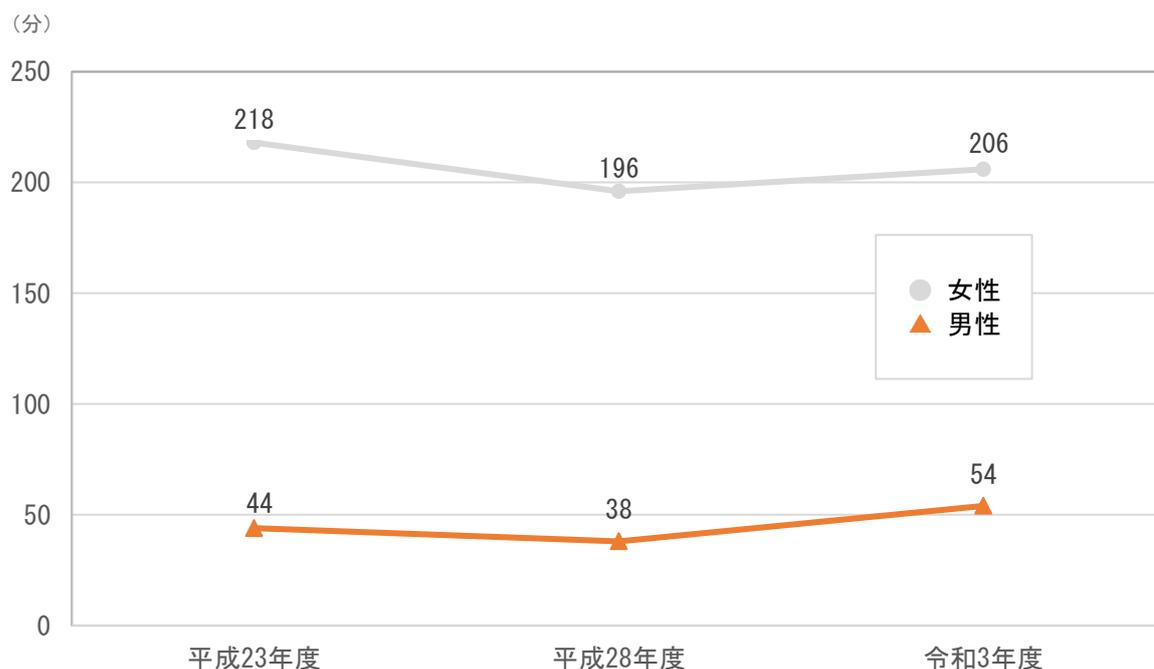


4- (1) 男女が共に参画する家庭・職場・地域づくり

家庭においては、本県の男性の家事関連(家事、介護・看護、育児、買い物)に占める時間は1日に54分に対して、女性は3時間26分となっており、前回調査時より男女ともに増加しておりますが、依然として女性への負担が大きくなっています(総務省「令和3年度社会生活基本調査」)。また、男性に多く見られる仕事中心のライフスタイルでは、家庭、地域への参画が困難な状況です。

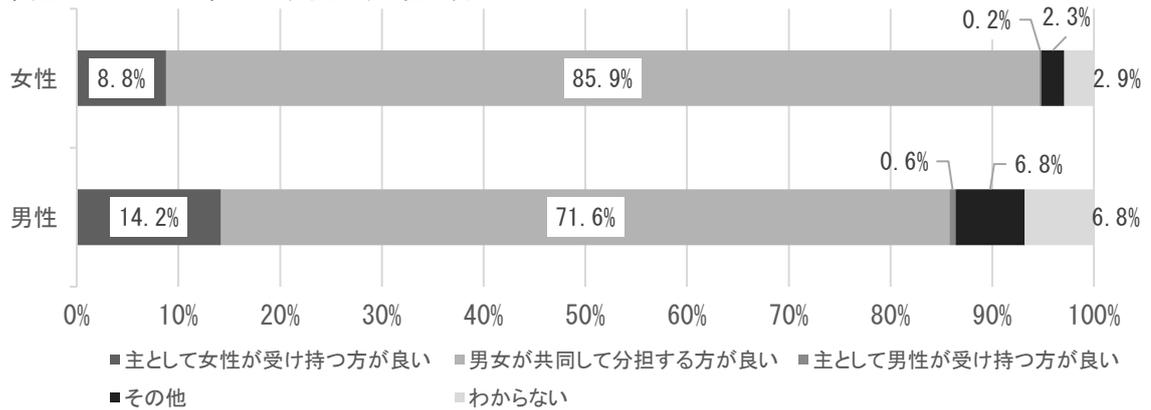
ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)は、経済の活性化や個人生活の充実につながるものであり、その理解は徐々に進んでいます。県が実施した「仕事と家庭の両立支援に関する雇用環境調査」(令和3年度県労政雇用課)では、重要性や必要性を感じている企業は9割を超えており、「取り組んでいる」及び「今後取り組んでいきたい」と回答した企業は、合わせて8割を超えております。このような中、地域社会での助け合いなど、身近なことについての地域の役割や機能に対する期待が高まっています。

○県内男女別(15歳以上)1日あたりの家事関連時間(家事、介護・看護、育児、買い物)



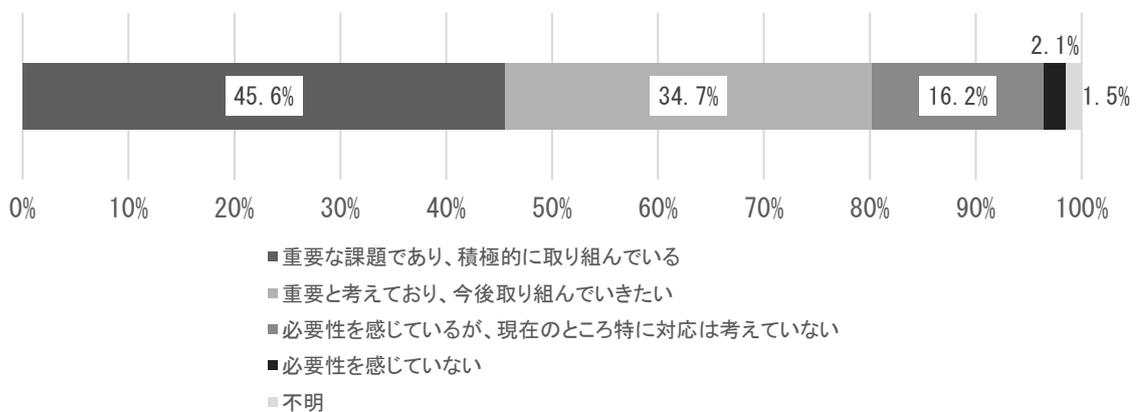
資料出所：総務省「社会生活基本調査」

○家庭内における家事・育児・介護の分担について



資料出所：愛媛県「令和元年度男女共同参画に関する世論調査」

○従業員の仕事と家庭の両立についての意識 (n=730)



資料出所：愛媛県労政雇用課「仕事と家庭の両立支援に関する雇用環境調査」

■男性の家事参画推進事業

家事・育児等の家庭での責任が女性に集中している状況を踏まえ、家事を楽しみ、積極的に取り組む男性（カジダン）の輪の拡大や男性の家事等の実践を促すなど、男性の家事参画を積極的に推進しています。

○男性の家事参画プロジェクト事業

- ・カジダン実践講座の開催

男性の家事実践を促進するため、家事実践のノウハウ等を学びながらカジダンの必要性等に対する理解を深める講座を開催しました。

日時	10月1日(金)～ 12月31日(金)	10月16日(土) 10:00～12:00	11月7日(日) 10:00～12:00
場所等	録画配信	オンライン配信	松山市総合コミュニティセンター 会議室
テーマ	カジダン実践講座(料理編) 家族の『おいしい』は楽しさから	カジダン実践講座(整理整頓編) ・人生を変える掃除力	カジダン実践講座(洗濯編) ・お家で出来るしみ抜き&アイロン術
講師	中村 和憲	西野 雅史	大野 邦夫

- ・カジダンロールモデル集の作成・公表
内 容：家庭での「家事シェア」を実践している
男性の取組み事例や効果等を紹介
作成部数：6,000部



- ・カジダンリーダーの選任（5名）
家事実践への意欲が高く自らの取組み等を発信できる男性をリーダーとして選任し、メールマガジン等での情報発信やカジダンの普及拡大を行いました。
- ・カジダンネットワークの構築
カジダンに賛同する個人(性別を問わない)や企業等で構成される「カジダンネットワーク」を推進するため、賛同者の個人や企業等が実際に集まり交流を深めるための「カジダンネットワーク交流会」を開催し、参加者の意欲向上や仲間づくり、企業の理解促進等を図りました。
開催日時：令和3年9月2日(木)18:30~20:00(オンライン開催)
参加者数：20名
講 師：徳倉 康之氏
(株ファミリーエ代表取締役NPO法人ファザーリング・ジャパン理事)
- ・4月から月1回メルマガを発行し、カジダン講座の内容紹介やイベント告知、参加者交流(ノウハウや活動状況の共有など)を実施しました。
カジダンネットワーク参加者：752名・団体(令和4年3月31日現在)

○男性の家事参画環境づくり事業

「カジダン」に象徴される働きながらのワークライフバランスを実現するため、大学と連携し、キャリア形成等の授業において仕事と家庭の両立の必要性や県の取組みに関する講義を行うとともに、仕事と家庭の両立や理想の働き方を可能にする職場環境についての意見をとりまとめ、その成果を県内企業に共有しました。

実施時期等	大学等	実施内容	参加人数(人)	講師
7月(WEB)	愛媛大学社会共創学部	男性の家事参画、仕事と家庭の両立、ワークライフバランス、国や県の取組み、新型コロナウイルス感染症による働き方の変化	190	S.I.C オフィス・キャリアステーション 河野久美子
7月(WEB)	松山東雲短期大学		70	
11月(WEB)	愛媛大学理学部		100	
12月~2月(WEB)	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学		106	
12月(対面)	松山大学		13	

4－（２）安心して子どもを育てられる環境整備

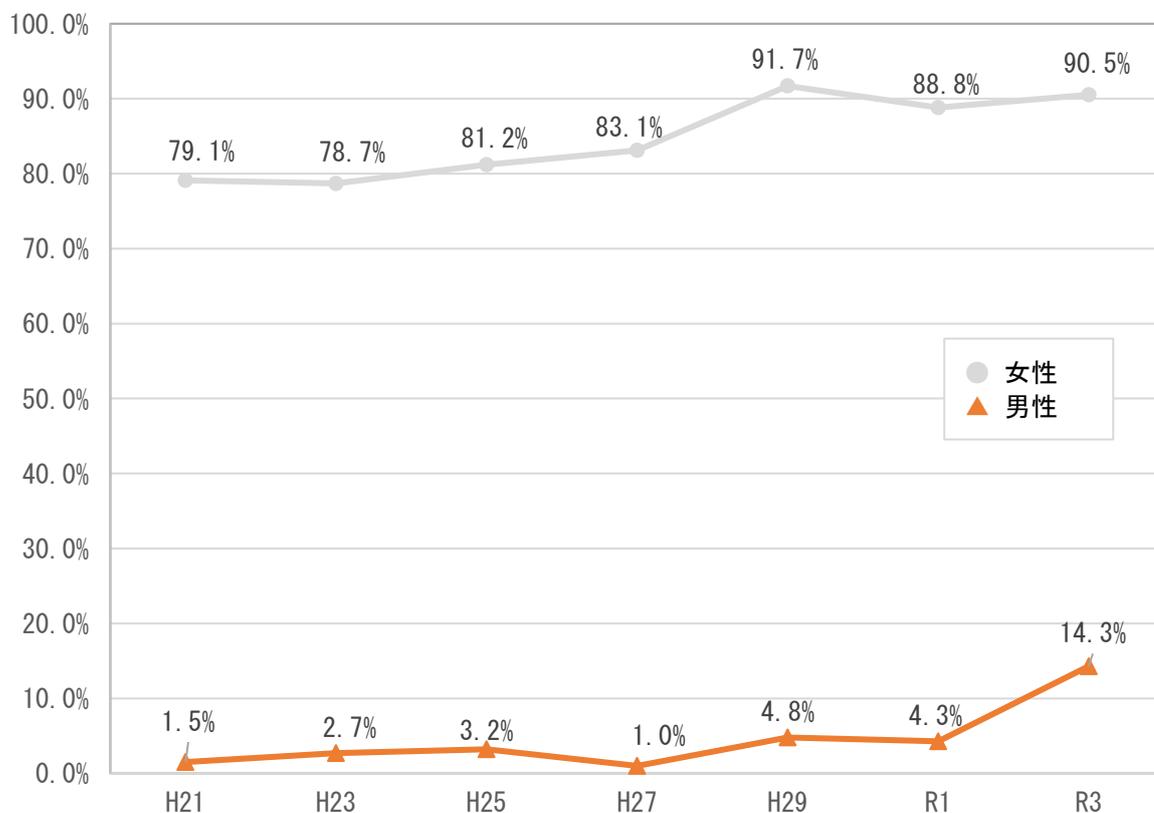
女性が子育ての負担感から、子どもを産むことをあきらめたり、仕事を辞めたりしなければならない場合があります。このため、令和2年3月に策定した「第2期えひめ・未来・子育てプラン(後期計画)」(県子育て支援課)では、前期計画を踏まえ、結婚から子育てへの切れ目のない支援を推進するとともに、児童虐待や子どもの貧困問題など、子どもや子育てにめぐる課題に対応し、子どもの幸福に焦点をあてた各種政策を展開することとしています。

○愛顔（えがお）の子育て応援事業

愛媛県では、県内に本社、本店または紙おむつ製造工場を立地する県内紙おむつメーカー3社（花王株式会社、大王製紙株式会社、ユニ・チャーム株式会社）、市町と連携して、平成29年度（2017年度）から愛媛県ならではの子育て応援事業「愛顔の子育て応援事業」を実施しています。対象市町に住民登録がある第2子以降、満1歳未満のお子さんのいる世帯に、県内紙おむつメーカーの乳幼児用紙おむつ製品を購入する際に利用できる「愛顔（えがお）っ子応援券（※）」50,000円分【1,000円券の50枚綴り】を、市町役場を通じて交付しています。

※市町によっては、名称が異なることがあります。

○県内民間事業所の育児休業取得率（愛媛県）

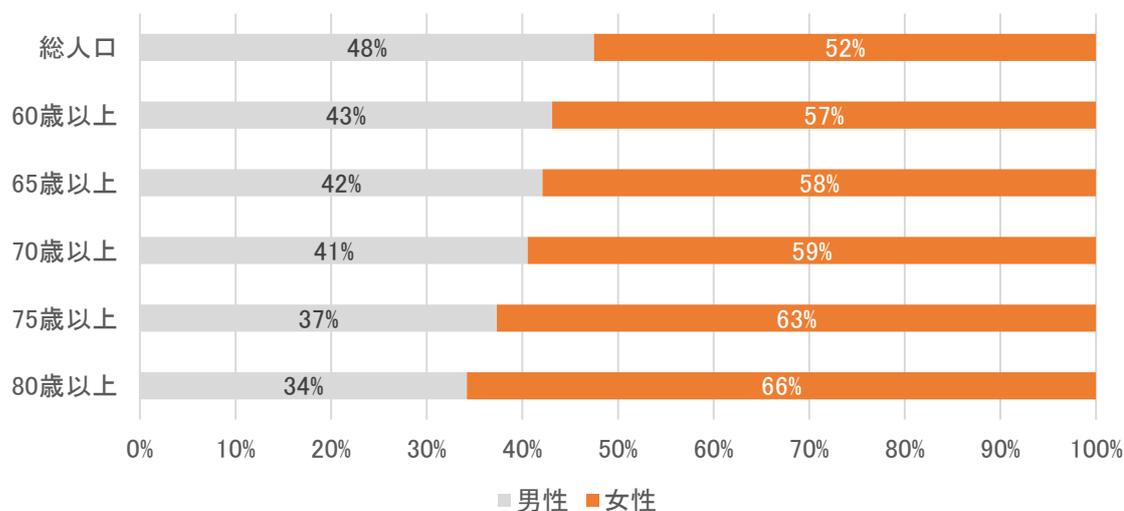


資料出所：愛媛県労政雇用課「仕事と家庭の両立支援に関する雇用環境調査」

4－（3）高齢者や障がい者等が共に輝いて暮らせる環境整備

本県の高齢化率は、令和3年4月現在32.84%で全国的にも高い水準であり、今後も上昇が予測されています。家族の介護は、介護保険制度の導入により、ある程度軽減されましたが、育児と同様に主に女性が担い、大きな負担となっています。また、令和2年国勢調査では、ひとり親世帯数は減少しているものの、高齢化の進展による高齢単身世帯の増加（平成27年国勢調査に比し約10%の増）が著しく、貧困など生活上の困難に直面する男女が増加しています。障がい者については、障がいの重度化、重複化及び高齢化などにより、福祉サービスに対するニーズが多様化・高度化しています。

○高齢者の男女比率（愛媛県）



資料出所：愛媛県長寿介護課「令和3年度高齢者人口等統計表」

○ひとり親世帯数及び高齢単身世帯数（愛媛県）

区分		H12	H17	H22	H27	R2
ひとり親世帯数	母子世帯	8,975	10,428	10,643	10,060	8,105
	父子世帯	1,252	1,321	1,240	1,141	918
	計	10,227	11,749	11,883	11,201	9,023
高齢単身世帯数	女性	41,194	47,704	53,070	59,013	62,501
	男性	9,997	13,393	16,305	22,343	27,312
	計	51,191	61,097	69,375	81,356	89,813

資料出所：総務省統計局「国勢調査報告」